

学術変革領域 (A) 「物質共生」

公開シンポジウム & 公募説明会

2022年8月9日(火)12:50~16:20

つくば国際会議場
(ハイブリッド)

参加無料

領域代表：山吉 麻子 (長崎大学)

この度、令和2年にスタートしました学術変革領域研究(A)「マテリアル・シンバイオシスのための生命物理化学(物質共生)」(令和2~6年度)の公開シンポジウムを行います。同時に、第2回の公募研究説明会を開催いたします。

生体内では、腸内細菌叢など「非自己」との共生形態が成立し、生命維持の基盤となっています。一方でバイオ医薬品や生体適合材料など様々な機能性分子が開発されていますが、これら「非自己物質(マテリアル)」と生体との共生は真の意味で達成されておりません。本研究領域は、生体とマテリアルとの共生形態を「マテリアル・シンバイオシス(物質共生)」と定義し、マテリアル-生体分子間に示される弱い相互作用に基づく協同性作用の解明とその時空間的な解析により、物質共生とは何かを解明します。さらには、「マテリアル・シンバイオシスのための生命物理化学」という新たな学問分野を世界にさきがけて開拓します。

参加申し込み：下記のリンクからお申し込みください。
オンライン参加を申し込まれた方には、Zoom説明会のリンク先をご案内いたします。

URL: <https://forms.gle/px5156nEDSa7P2UW9>



令和2~6年度 文部科学省科学研究費助成事業
学術変革領域研究(A)「物質共生」

マテリアル・シンバイオシス
のための**生命物理化学**



公開シンポジウム

2022年8月9日 (火)

プログラム

- 12:50~13:00 代表挨拶と領域主旨説明 山吉 麻子 (長崎大学)
外部評価委員挨拶 佐々木 茂貴 先生
(長崎国際大学)
- 13:00~15:10 各計画研究の説明
- A01-1 弱い相互作用のインターフェースの可視化と
生体応答の同時イメージング 大場 雄介 (北海道大学)
- A01-2 細胞表面蛋白質の弱い分子認識の
定量化・構造解析 前仲 勝実 (北海道大学)
- A02-1 非天然核酸が誘導する免疫惹起機構と
「弱い相互作用」の解明 山吉 麻子 (長崎大学)
- A02-2 合成高分子の示す弱い相互作用を起点とする
生体応答の解明 白石 貢一 (慈恵医大)
- ~休憩~
- A03-1 腸内共生系における弱い相互作用の理解と
材料共生への応用 森 健 (九州大学)
長谷 耕二 (慶應大学)
- A03-2 アポトーシス細胞に学ぶ免疫寛容
マテリアルの創製 荏原 充宏 (NIMS)
- 15:10~15:50 特別講演 自然免疫応答の制御と物質共生
-mRNA調節の観点から- 竹内 理 先生
(京都大学医学研究科)
- 15:50~ 公募に関する説明/Q&A
事務連絡
外部評価委員による講評 山岡 哲二 先生
(国立循環器病センター)
- 16:20 閉会